

代名詞 <ページ1>

【代名詞】とは？

私は中学生です。

例えば、(・▽・)

この「私」という語は、例えば「たなか いちろう」という人の名前の【代わり】に使われる語です。

このような語は他にも「あなた」「彼」「彼女」「彼ら」「それ」…など。

全て、【名前(名詞)の代わり】に使われる語ですね。



この、「名前(名詞)の代わり」に使われる語のことを、**【代名詞】**と呼びます。

「私」「あなた」「彼」「彼女」「彼ら」「それ」…など、日本語の中にも代名詞はあるし、

英語の中にも、代名詞と呼ばれる単語があります。

(^▽^)< 英語の中の【代名詞】について、このプリントでは学習していくよ！

◆まずは、自分。

自分にとっての「**1 人目の人間**」は、σ(^▽^) 自分。

自分のことを指す代名詞は、日本語だと「私」「俺」「僕」「うち」「あたし」「おいら」「小生(しょうせい)」

などなど、たくさんありますが、英語だと、この 4 種類。

I	my	me	mine
↓	↓	↓	↓
私は(私が)	私の	私を、私に	私のもの

★日本語との違い、気づいたかな？

日本語だと、「私」という 1 つの語に、「は」「が」「の」「を」「に」「のもの」と異なった語を付けて違いを表すけど、

英語は、「私は」「俺は」「僕は」「あたしは」「おいらは」などは全て I σ(^▽^) なのです！



つまり、「私」「俺」「僕」「うち」「あたし」「おいら」…という区別が、英語には無いということ！

男性でも女性でも、大人でも子どもでも、「自分は(自分が)」と言いたい時は誰でも I を使うのです。

同じように、

・私の(俺の、僕の、あたしの、おいらの…) = my

・私を(俺を、僕を、あたしを、おいらを…)、私に(俺に、僕に、あたしに、おいらに…) = me

・私のもの(俺のもの、僕のもの、あたしのもの、おいらのもの…) = mine

と、なります。

σ(^▽^)< この「自分を表す語」を、文法用語で **《一人称(いちにんしょう)》** と呼ぶよ！

初めに書いたとおり、自分にとっての「**1 人目の人間**」は σ(^▽^) 自分 だから、

一人称 と呼ばれるのです。(でも「ひとりしょう」じゃないよ！「いちにんしょう」ね♪)

【ミニ練習問題】 英語の代名詞に直しなさい。

俺の() ぼくを() あたしは() おいどんのもの()

代名詞 <ページ2>

◆自分についての「2人目の人間」は…

自分についての「1人目の人間」は、σ(^▽^) 自分。

では、「2人目の人間」は？ … (^▽^)σ \ (^o^) ←この人！ 目の前にいる「相手(あなた)」!

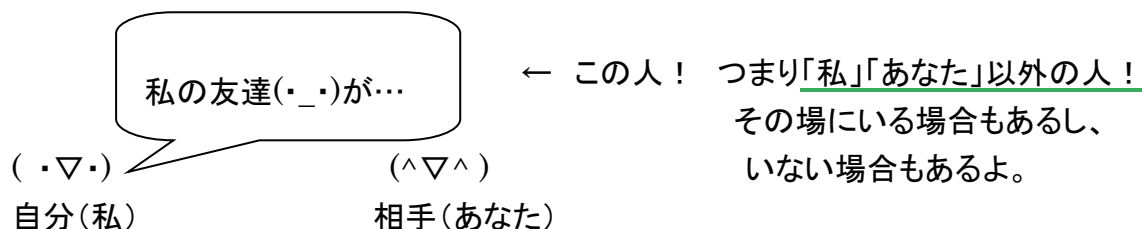
この「相手(あなた)を表す語」は、文法用語で 《二人称(ににんしょう)》。

you	your	you	yours
↓	↓	↓	↓
あなたは(あなたが)	あなたの	あなたを、あなたに	あなたのもの

目の前にいる相手に対しての日本語の代名詞、

「君は」「お前は」「そちら様は」「貴殿は」「あんたは」「貴様は」など … 英語の代名詞だと全て you ♪

◆そうすると、「3人目の人間」は…



この、「私(自分)」「相手(あなた)」以外 を表す語は、文法用語で 《三人称(さんにんしょう)》。

三人称だと、英語の代名詞でも「男女の区別」が発生します！

he	his	him	his	she	her	her	hers
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
彼は(彼が)	彼の	彼を、彼に	彼のもの	彼女は(彼女が)	彼女の	彼女を、彼女に	彼女のもの

また、《複数(1人ではない、2人以上)》という場合の代名詞もあるよ。

三人称を例にすると、

they	their	them	theirs
↓	↓	↓	↓
彼らは(彼らが)	彼らの	彼らを、彼らに	彼らのもの

※「彼女たちは」など、女性についても同じく they their them theirs を使うよ！

ちなみに、人間ではない「物」(それら)についても、同じく they their them theirs を使うのだ。

☆ それぞれの代名詞の読み方、一人称・二人称の《複数》の時の代名詞、などについては、 ☆

☆ 別紙「一覧表」を参考にしてくださいね！ ☆

☆ (^▽^)< アイ・マイ・ミー・マイン ♪ と口ずさみながら、すべて、しっかり覚えてね。Try hard! ☆

【ミニ練習問題】 英語の代名詞に直しなさい。

彼を() 彼女は() お前の() 彼女達のもの()